

カンノンチクの育て方

カンノンチクは、屋久島から台湾、中国南部に自生するヤシ科の雌雄異株の植物で、育てやすさと、美しい葉姿から広く家庭で親しまれています。冬は室内で管理します。

育てやすい主な品種

青葉系 丸葉：大黒天，小判，東和殿 斑入り系 丸葉：寿，小判錦
長葉：七宝殿， 中葉：瑞見錦
大葉：愛国殿，太平殿

年間管理

月別	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
置き場	室内のガラス越しの日が当たるところ				戸外の日よけ下または午前中1～2時間日が当たる明るいところ						室内	
水やり	2～3日に1回			1日			1～2回			2～3日に1回		
肥料				●	●	●	●	●	※置肥 油カス8：骨粉2 混合，5号鉢で茶 さじ1～2杯			
作業					植え替え，株分け				カイガラムシ防除			
					褐点病の予防							

植え替え・株分け

適期 5月中旬～6月

用土 日向土，真砂土，川砂など水はけのよいものを単用し，大粒(6～10mm)，中粒(4～6mm)，小粒(1～4mm)の3種類に分けて使用します。

鉢 駄温鉢または観音竹鉢など。

株分け 小さい芽を親株から分けるとその後の生育が悪いので，少なくとも葉が7～10枚以上になったものを分けます。

病害虫など

- 葉先が茶色に枯れる→水のやりすぎまたは乾かしすぎによる根先の傷み⇒水やりを加減する。
新しい用土で植え替える。
- 5～10月には褐点病，6～8月にはカイガラムシに注意し，適宜適用のある殺虫剤や殺菌剤を施用します。



1cmほどあける
水ゴケを敷いてもよい

- 小粒約 $\frac{1}{2}$
- 中粒約 $\frac{1}{4}$
- 大粒約 $\frac{1}{4}$

カンノンチクの植え方

栽培のポイント

- 2～3年に1度植え替える。
- 強い光に当てない(葉焼けする)。
- 強い風に当てない(葉に傷がつく)。
- 用土を乾かしすぎない。
- 冬は室内に取り入れる。

